

DX が最初に提唱されたのは 2004 年のこと。もともと DX とは、スウェーデンのウメオ大学教授、エリック・ストルターマン氏が主張した「IT の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念のことを指します。

近年では、一般的に「最新のデジタル技術を駆使した、デジタル化時代に対応するための企業の変革」という意味合いのビジネス用語として使われています。

Digital Transformation を DT ではなく DX と省略する訳
Transformation の Trans はラテン語の trans が由来で 変える／超えるの意味があり X と
表記され Transformation は Xformation と表記される。
よって Digital Xformation の頭文字から DX と略記される。